

◆血液検査（循環器健診・特定健康診査で実施している主要検査項目のみ）

検査項目		参考基準値	単位	検査の説明
血球計数	白血球数 (WBC)	3.2~8.5	×千/ $\mu$ L	・人間の身体が病原菌などに侵された場合、身体を守るために白血球が増え、病気に打ち勝つ働きがあります。身体の慢性的な炎症や、化膿や発熱のある時には白血球が増加します。また、喫煙も白血球の増加に影響します。
	赤血球数 (RBC)	男：400~539 女：360~489	×万/ $\mu$ L	・貧血とは、血液中の赤血球の数とヘモグロビン（血色素）の量が減少している状態をいいます。ヘモグロビンは私たちの身体の組織に酸素を運ぶ役割をしています。赤血球およびヘモグロビンが減少すると、色々な症状（顔色がわるい、疲れやすい、めまい、息切れ、頭痛等）が現れます。貧血が進んできたときは、身体が慣れてしまい、はっきりした症状のないこともありますので注意が必要です。貧血を指摘された時は原因を調べる必要があります。
	血色素量 (Hb)	男：13.1~16.6 女：12.1~14.6	g/dL	
	ヘマトクリット値 (Ht)	男：38.5~48.9 女：35.5~43.9	%	
血清脂質	中性脂肪 (TG)	30~149	mg/dL	
	HDL コレステロール	40~99	mg/dL	・善玉コレステロールと呼ばれ、余分に蓄積されたコレステロールを回収する働きがあります。喫煙や肥満、食生活の乱れ、運動不足等で低下します。
	LDL コレステロール	140 未満 (120~139 境界域)	mg/dL	・悪玉コレステロールと呼ばれ、数値が高いと動脈硬化になり、心筋梗塞や脳梗塞等の病気を誘発します。女性は、女性ホルモンの減少する閉経後に数値が上昇しやすいので注意が必要です。
肝機能	GOT (AST)	~30	U/L	・肝臓は食物の消化に必要な胆汁をつくったり、たんぱく質、糖質、脂肪の代謝、薬物や毒物の解毒など大切な働きをしています。肝臓が「からだの化学工場」といわれるゆえんです。 ・肝臓病をおこす原因には、肝炎ウイルスによる感染、アルコールの飲みすぎや薬剤等の副作用、栄養障害、代謝異常など数多くあります。心身の過労・偏食・加齢の摂りすぎ、又は不足は肝臓に大きな影響を与えます。 ・肝臓は沈黙の臓器ともいわれ、自覚症状がでにくく、気づかないうちに悪くなっていて健康診断を受けることによって、初めて肝臓の障害を指摘される人が多くみられます。肝臓病があるかどうかはひとつの検査だけではわかりません。いくつかの検査の組み合わせにより診断されますので、指示に従ってください。
	GPT (ALT)	~30	U/L	
	$\gamma$ -GTP	男：10~60 女：5~45	U/L	
	LDH	125~237	U/L	
痛風	尿酸 (UA)	男：3.0~7.2 女：2.1~6.0	mg/dL	・食べ過ぎ、アルコールの飲みすぎ、肥満、運動不足等によって血中尿酸値が高くなると尿酸（プリン体の分解による老廃物）の結晶がたまり、全身の血管に影響を及ぼし、痛風や腎臓の障害、心筋梗塞、脳卒中等の原因になります。
腎機能	クレアチン (CRE)	男：~1.0 女：~0.7	mg/dL	・筋肉で作られる老廃物で、尿中に排泄されます。数値が高い場合、腎臓が正常に働いていないことを示し、腎機能障害や腎不全が疑われます。
糖尿病	HbA <sub>1c</sub> (NGSP)	~6.0 未満	%	・糖尿病は、「自覚症状がないから」と放置することによって、全身の血管に影響をおよぼし、眼・腎臓・神経に起こる合併症や動脈硬化へと進みます。 ・尿に糖が出たからといって糖尿病というわけではありません。健康な人でも、食事との関連、ストレス、妊娠などの原因のほか、腎性糖尿といって先天的に糖が出やすい体質の人もあります。糖尿病になるのも、悪化させるのも毎日の生活の仕方（ライフスタイル）が大きく関わっています。

注）基準値は健診機関によって多少異なります。ご自身の健診結果表に記載された基準値を合わせてご覧ください。

検査の結果は、食事・運動など種々の要因の影響を受けます。結果についてご不明な点はお問合せください。

### ◆その他の血液検査（消化器）

検査項目	陰性	陽性	検査の説明
ヘパシガン1 (PGI)	PGI 70以上	PGI 70未満	<ul style="list-style-type: none"> <li>胃粘膜の炎症や萎縮など胃粘膜の健康度を判定する指標で、胃がんの高危険群である萎縮性胃炎を診断する検査です。</li> <li>この検査だけでは胃がんを診断できないため、胃X線検査や上部消化管内視鏡検査（胃カメラ）などの画像診断が必要になります。</li> <li>上部消化管症状のある、食道・胃・十二指腸の病気で治療中、プロトンポンプ阻害剤を服用中、胃切除後、腎不全の人には適していません。</li> </ul>
ヘパシガン2 (PGII)	かつ PGI/PGII	かつ PGI/PGII比	
PGI/PGII 比率	比率3以上	比率3未満	

### ◆その他の血液検査（前立腺がん）

検査項目	参考基準値	単位	検査の説明
PSA	4.0以下	ng/dL	・前立腺がんの上昇する腫瘍マーカーです。

### ◆尿検査

検査項目	参考基準値	検査の説明
尿糖	陰性（-）	・尿中に糖が出ているかを調べ、糖尿病を見つける指標の一つです。陽性（+）の場合、糖尿病や膵炎、甲状腺の機能障害等の疑いがあります。
尿潜血	陰性（-）	・尿中に血液が出ていないかを検査します。陽性（+）の場合、腎臓病や尿路系の炎症が疑われます。
尿たんぱく	陰性（-）	・尿中に排泄されるたんぱくを調べ、腎臓病などの判定に用います。激しい運動の後、過労状態の時、発熱時等に高くなることがあります。

### ◆便潜血検査

検査項目	参考基準値	検査の説明
便潜血検査	陰性（-）	・大腸がん検診の一次検査や下部消化管疾患（出血している病気）のスクリーニングとして実施します。